

野島玲菜 / サクソフォン

ヤマハ音楽教室、津野栄一音楽教室にて幼少の頃から音楽に親しみ、吹奏楽部への入部をきっかけに12才からサクソフォンをはじめる。広島音楽高校へ進学し、大阪音楽大学を首席で卒業の後、同大学音楽専攻科を卒業。在学中にはフィル・ウッズ、ユージン・ルソー、ロジェ・ブートリー、各氏の公開マスタークラスを受講。卒業時に最優秀賞を受賞し、いずみホールにて催された最優秀賞受賞記念演奏会「ザ・ローレル・コンサート」に出演。東京読売新人演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会(東京)、YAMAHA 管楽器新人演奏会(大阪)など、新人演奏会に多数出演。現在は同大学演奏員。

卒業後は、なにわ芸術祭「新進音楽家競演会」にて新人奨励賞を受賞。第11・12・13回「浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル」にて須川展也クラス、ジャン=イブ・フルモークラスを修了。大阪城ホール大阪A I Sに在籍し、2007年のデビューリサイタル以降各地で活発にコンサート活動を展開している。地元、兵庫県猪名川町親善大使の任命を受け、「阪神芸術祭」オープニングセレモニーでの演奏も務めた。四重奏団<エクレール・サクソフォン・カルテット>など、アンサンブルでの活動にも意欲的に取り組んでおり、近年では、吹奏楽団フィルハーモニック・ウインズ大阪の楽員としてアメリカ・シンシナティで催された世界吹奏楽大会(W A S B E)へアジア代表として出演。また2009年11月、藤岡幸夫氏の指揮のもと関西フィルハーモニー管弦楽団と初めてのコンチェルト共演を果たす。

これまでに室内楽を、井上麻子、上塚憲一の両氏に師事。サクソフォンを、佐藤美穂、篠原康浩、小村由美子、須川展也の各氏に師事。

春木浩子 / ハープ

大阪音楽大学、および同大学院終了。

海川佳代子、Jモルナール、吉野篤子の各氏に師事。

大阪音楽大学教育助手を経て現在はフリーの演奏家。

トークをまじえたコンサートを各地で行うほか、丹波の森国際音楽祭、倉敷音楽祭に出演。

大阪フィルハーモニー交響楽団、テレマン室内管弦楽団等とコンチェルトを共演。

大阪シンフォニカー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、テレマン室内管弦楽団、オペラハウス管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団等の客演奏者。

また、フェリーチェ音楽院、朝日カルチャーセンター講師を務める。

ルネサンス音楽から現代音楽まで演奏するアンサンブルアメニティのメンバー。

日本ハープ協会、西宮音楽協会会員。